

DX 企業講話 上田プラスチック株式会社 様



講師

上田プラスチック株式会社

管理部 次長 武 様

管理部 総務人事課 山浦 様

講話内容

- ・ DX の取組（現状、メリット、今後の取組み）
- ・ 会社概要（経営理念、主要設備、アピールポイント、金型技術・成形技術）
- ・ 未来の技術（3D プリンタ、協働ロボット、スマートファクトリーについて）など

学生のワークシートから抜粋

【企業についてわかったこと等】

- ・ プラスチックを加工し、ブレーキ用のオイルタンクなどを作っている。
- ・ DX 化によって、生産や製品の管理を PC でしている。
- ・ 「最後に残るのは技術力」
- ・ メカニカル技術が支える分野：宇宙、医療、農業、輸送
- ・ SDGs 推進企業である。バイオマスプラスチック製品の開発、産業廃棄物の削減、ダイバシティ経営を行っている。
- ・ アピールポイント：成形のための技術、樹脂溶着、環境関連など、金型技術と成形技術、精密金属づくりなど

【感想】

- ・ 自動化するための機械を自分たちで作っていて、すごい技術力だなと感じた。人手不足を自分たちで解決できるのはすごいと感じた。
- ・ DX もううまく使えば、大きな変化を起こすことができるんだなと思った。

- ・SDGs としてうちやホッチキスをつくったり、自動車の部品や文具などさまざまなものをつくっていることがすごいなと思いました。日本の中小企業はすごいと改めて感じた。
- ・今のバグや問題を未来の我々が改良していくことで、この先の工業がより良く進化していくんだなと思いました。
- ・今は人で行う作業がどんどんロボットなどで行われていてすごいと思ったし、10 年後の未来のこともすごく気になりました。
- ・環境に配慮して再利用やバイオマスプラスチックなど工夫して取り組んでいるのがすごいと思いました。
- ・今も未来も製造業を支えているのは技術力にあると思うので、そういうことを忘れずにこれから資格などをしっかり取って製造業で役に立てる人になりたいと思った。
- ・ロボットで自動でアセンブリをしていたりしたところがすごいと思いました。
- ・今まで人間がやってきた仕事が機械によって変わってきて、人間がパソコン 1 つ動かすだけでなんでも作れてしまうように変化していくのかなと思いました。
- ・DX 化していく中で、何が大切かをみきわめて、技術を身に付けるのが大事だと思った。